軍、官、民有志集りて　　朝鮮の『新體制』と「指導者と民衆」問題を語る[[1]](#footnote-1)

日時　十月十九日　午後一時半　・場所　半島ホテル

主催　國民訓練後援會　　　　　・講演　朝鮮新聞社、毎日新報社、京城日報社

出席者

總督府學務局長　　　鹽原時三郎

醫學博士　　　　　　朴昌熏

朝鮮軍報道部　　　　蒲少佐

國民訓練講演會幹事　金澤勇

城大教授　　　　　　辛島驍

前朝鮮文人協會長　　香山光郎

朝鮮新聞社副社長　　野崎眞三

朝鮮軍参謀　　　　　山之内中佐

國民訓練後援會總務　福田龍鐸

京城日報社學藝部長　寺田暎

三千里社長　　　　　金東煥

毎日新報主筆　　　　徐椿

和信常務取締役　　　朱耀翰

〇福田龍鐸　　新體制と云ふ言葉は大分聞き慣らされて居りますが、内地に於きましては大政翼賛會と云ふものが出來、又我半島に於ても國民總力朝鮮聯盟と云ふものが力強く誕生を見たのであります――總督閣下を中心とした總力運動の根幹を成すものが生れた譯でありまして、此の事に關しては縷縷私から申上る迄もありませんが[、]大體我々と致しましては、肇國の精神によりまして、東亞の新秩序建設、延ひては世界の新秩序建設を實現する――つまり肇国の御理想を實現すると云ふ絶好の機會に立至つて居るのでありまして、各自我々が倶に翼賛致すことの出來る事を光榮に思ひ且感激して居る次第でありますが[、]一般民衆の中には未だ十分に趣旨を徹底してゐない向きもあるやうに考へる次第でありますので[、]國民訓練後援會に於きましては[、]總督府或は軍部の樞要な地位に居らるゝ方々、又各方面の有力な方々にお集りを願つて、こゝで十分にお話を致し[、]益々此の總力運動といふものゝ眞の精神を明らかにしまして、より大衆の理解と協力を深めたいと云ふ目的の下に、本座談會を開催した次第であります、尚會長野村弘遠氏が病氣の爲、私が茲に、司會の役を果したいと存じます。

○福田龍鐸　　新體制に對する座談會となつて居りますが[、]之は甚だ廣汎に亘る問題で　ありまして[、]今日は一般的と云ひますか、總論的と云ひますか[、]多少精神的な方面に亘つて御意見を拜聽したひと存じます。先づ最初に總力聯盟を作られました鹽原閣下に、この總力聯盟を作られました御趣旨を簡単にお願ひ致します。

○鹽原學務局長　　新體制の本當の精神は最高の軍備を作ると云ふことにあります。それを作り得る様な態勢を整へる、どの方面からも多少に不拘役立たないものはどしどし除外し去つて之を助長するものはどしどし取上げて行く、之をする爲に内地でも精神的に、その一點に集注し得る様に精神態勢を作られたのであり[、]之が大政翼賛だらうと思ひます。つまる所最強最高の軍備を完成する爲[、]國民の總力を集注し得る様な態勢を整へる爲に他ならない、自由主義的に考へるならば、いろいろ不平も生れて來るかも知れぬが――東亞新秩序の建設と云ふ寧ろ非常に高い目標が示されて居るけれども[、]之が完成の爲にはどうしても從來の儘では出來ない、今の様な態勢を採らねば出來ないのであり、そこに新體制の根本理念があるのだと思ひます。

○福田龍鐸　　理念は或る程度理解して居る様ですが[、]矢張り之を實踐して行くと云ふ上に於てはいろいろ困難な問題も御座いませう。茲に先づ第一に思想、第二に國民の訓練、第三に生産力の擴充、一、二、三と並べましたが之は重要性を表した順序ではありません――此の三つのものが新體制の中に筋金を成すのだらうと信じて居ります。

○朱耀翰　　總力聯盟と云ふのは國民精神總動員聯盟と同じ様なものかも知れませんが、然し精神總動員は精神のみに偏重した印象を受け易く、總力聯盟となれば精神のみでなく總力を以てぶつ突かると云ふ強い感じを現して、總力を皆が其の方に集中すると云ふ頼もしい印象を與へられる様です。

○朴昌薫　　精神上の力と體力と[、]二つのものが合致された力がもつと大きな譯で、

○鹽原學務局長　　最大限度にやらう――最高の國防充實に國民の總力が對つて行かなければ、――此の目的から此の様な名前に改めたのです。

○金東煥　　只今の鹽原閣下の御話に新體制の主眼とする處が第一に思想統一、第二に國民訓練、第三に生産力擴充のことゝ承はりましたが、思想のことは内地の現狀を見ましても左右兩翼が國家思想にうまく統一されて居るし、朝鮮としましても内鮮一體の大方針に民衆が皆歸一され[、]内鮮一體に抗ふものは撃滅され[、]内鮮一體を避ける者之亦新時代に取殘される非常に良い結果となりましたが、此の勢ひ[で]今後は内鮮を問はず尚一層國民思想が統一されることゝ存じますが、今のところ未だ未だ思想の統一が不充分の様に見受けられる様です。

○福田龍鐸　　大體に於て朝鮮の總力聯盟は内鮮一體の上に少からぬ努力が注かれねばならないでせう。

○朱耀翰　　私は商賣に携つて居りますが、商人や一般の人々にはよく政府の政策のことを批判したり、又役人のやつてる事は獨善的だ、今年の炭は大丈夫と云つても我々の手には少しも這入らないじやないか、これではどうしても商賣が立つて行かないとか、平氣で話してゐる人があるが、之等の批評は思想の善導と云ふことに非常に重大な役割を持つてゐる、斯くては經濟上の新體制もうまく行く筈はない、之等の思想を根本的に是正してかゝらねば悪影響を齎す結果となる虞れがある様です。

○鹽原學務局長　　人は死ぬ迄修養を積まねばならぬ假令[[2]](#footnote-2)の通り、何でも完全無缺と云ふことは仲々難しい。利己主義からそうした批評をするのは甚だ宜しくない。斯く進まねばならぬ、斯くして慾しいと云ふ如き建設的な批判なら大ひに結構だが。

○福田龍鐸　　野崎さんに新聞人として總督府に對して希望して居らるゝことなり、又新體制に對する御感想なりありましたら、一つ、

○野崎眞三　　内地に於ける大政翼賛會も朝鮮に於ける國民總力聯盟の新體制も下から盛り上る偉大な力と云ふものがなくてはならない。上からの下達と云ふこと、下からの上達と云ふこと、上に於ては下情關係をよく達觀し、下、臣民は亦上意をよく尊奉して、この結合宜しきを得、兩々相[俟]つて同一の線に協力をする、眞に上下一體となつて一億一心如何にして高度國防國家を完成するかと云ふことに就て眞剱な努力を拂ふ、今はこの新體制に立向ふ過渡期であり色々な批評も現れませうが、そうしたものに一々耳を籍さなくともいゝじやないか、それなどの不安が附纏ふのは忍ばなければならないじやないかと思ひます。

○福田龍鐸　　　要は官民が、指導する方も、指導される方も一體となつて總力聯盟の制度を實踐に移して行く、國民全體がそう云ふ氣持ちになつて行く必要があるでせう。

○鹽原學務局長　　獨善と云ふことは注意しなければならぬ、一聲の號令で動かす場合でも、本當に民衆の心になつて行かなければ、之が遊離して終つては駄目な譯です。

○金澤　勇　　新體制關係に就ては大政翼賛會が正式に發表されない以前から[、]内地に於ける新體制關係の色々な事が新聞雜誌等に載る様になつてから、旣に夫等を通じて知る様になつて以來、第一線の連中は之に對して相當の衝動を受けて居る、それで假令ば卑近な例が[、]町會關係に於て先般役員改選の時に際しても此等の事を眼中に置いていろいろやつて見た結果[、]大分新しい顔觸れが出ては居るが[、]其の結果は依然として舊套を脱しない、單に從來の連中を置換えた丈けのことでありました。これを通じて考へる時[、]要は其の人柄がどの位ひの程度までに時局を認識し、熱意を以て銃後の任務を背負つてゐるや否やの問題、此の事を考ふる時[、]眞の指導者を得ると云ふことは仲々困難なことであると非常に淋しい感に打たれたのであります。官に於ては之等のことに關心を注がれ、社會的に乗切つて行く人、眞に指導力のある新人を何とか探し出すことに御協力願ひたいと思ひます。新體制の陣容を整備する爲に働ひて呉れる人、活動戰線に出る役立つ人は澤山埋もれてゐることを確信するものです。

○山之内參謀　　そう云ふ人は、上の總督府とか云ふ方面から引上げて下さることも必要であるが、一面は矢張り國民の聲がそう云ふ氣分に這入り國民が之を押出すことにならないと本當ではない。彼のヒツトラーはベルサイユ體制を叩き返へそうとする七千五百萬國民の熱意が薀醸して、國民自身が運動して之を引出したものであると思ひます。ヒツトラー自身が偉くて出て來たとも見られますが、國民全體の熱意が彼を引出したと云ふことにも見える[。]ナポレオンも亦然りであります。未だ國民大衆は總力態勢を引張る力が足りない、押し出す力も不足してゐる、もつと大轉換をする必要を痛感します。總力聯盟の出來た此機會を機としまして茲に飛躍的な總力の發揮をして戴きたいと思ふ[。]強力な指導者が出來たならば、犠牲的精神を以て滅私奉公でかゝつて行く、一般の方々としては、一般の方々として自己の職分に皆が集中して驀進する、斯云ふ氣分を薀醸すると云ふことが最も必要だと思ふ。

○金澤　勇　　要は民衆の上に立つ指導者の問題にかゝる、彼等民衆は非常に純眞であり指導者の云ふことをよく尊奉して呉れる、又よく從ひて來てくれることは今迄やつて來た經驗で證明出來るのでありますが、指導者に於てもよく時局の理念を把握して彼等民衆を指導しなければならぬ、詰めて申しますと、よくヒツトラーの例を引ひたり或はムツソリーニの例を引用して指導する場合がある様でありますが、之は私に云はしむるならばヒツトラー或はムツソリーニの持つてゐるところの熱意、之はたしかに參考になるかも知れませんが、日本の傳統精神と云ひ、又惟神[[3]](#footnote-3)の精神を汲んで精進努力して行く必要があると思ひます。

日本には惟神の精神がある、我等民衆は此の傅統の精神を尊奉して日常の生活の中に之を實踐窮行すれば足りる、從つて外國の様に英雄を慾する必要も起らないのであります。

○朱耀翰　　今日の様に一月一回一時間程度の訓練では此の目的を達成することは不可能ではないかと考へます。毎日曜日に適當な時間を割き、宗教家が一時間、偉ひ人が一時間と云ふ具合に二時間程度の話をやる位ひのことは實踐して戴きたい。常會に子守やオモニが澤山集る現狀では訓練の効果は舉らない、ライスカレーを喰ふことが日曜日の行事となつてゐる現狀では駄目だと思ひます。

○山之内參謀　　毎日でもやる事が必要です、軍司令部に於て私の受持つ所では毎朝部下を全員集めて、本日は斯云ふことをやる、お前は何をやれ、之は如何なる態度を以て研究すべきだ、其他連絡を取ることの一切を毎朝指示を與へる、それから各々の分擔に對して全能力を發揮してかゝる、斯云ふ氣持ちを徹底することが極めて肝要だと思ふ、退廰前もう一回集めて今日の業務に就て締めくくりをつける、要すれば明日の業務に就て豫め連絡し置くべきことは達して置く、地方の方々に於ても指導の地位に立つ主人が毎朝番頭なり店員と顔を合せて本日の仕事は斯々と決めて掛り、そして示された事に對つて全力を發揮する、日日の仕事に對つて、各々の持場に於て總力訓練を發揮敢行する、之が一番身になるのじやないかと思ひます。

〇福田龍鐸　　高度國防國家の態勢を作ると云ふ様な場合[、]國防上の問題から山之内參謀殿に何か一つお願ひ致します。

○山之内參謀　　内容は複雑して居つて一概にはお話し盡せませんが、今般道知事會議開催の際、軍司令官閣下が談話を以て新聞紙上に示されましたる通り、三國條約の結果要するに、日本に對して老獪な經濟戰を以て對抗して來た國々に対して、此の經濟戰に打勝つべく我方としては、我が國防資源を充分確保して軍備を最高度に充實することが絶對必要でありまして、此の資源戰に負くる様な事あらんか、それこそ凡ゆる犠牲を甘んじて來た東亞新秩序の建設と云ふものも不利に陥る、要するに資源を確保する――日、獨、伊が締結したからと云つて、獨逸に頼つてゐることは断じて許されない、飽迄自給自足の方途を講ずる、蘭印の資源を採る之は我が外交戰にお任せする、一般國民としては各々の持場持場で働ひて國防上重要な資源と思はれる凡てのものは如何なる苦みを耐へ忍んでも出來る丈けの努力を拂つて之を獲得して戴く、このことが新體制に於て生産力の擴充が大きな一つの眼目となつた所以であつて、この生産力擴充と云ふことに對しては國民皆が之を助け合ふ、文士の方に於かれて之を精神的に鞭撻して戴く、之を斷行するには結局その基礎として思想の統一、國民の訓練[、]此の二つのものが伴はなければならない。團體が指導者と一體となつて、鑛業に從事する人は之に向つて全能力を傾注する、總督府の希望通り國家の最も必要な方々には、農業にしろ、工業にしろ出來る丈け團體が國家的に協力して生産を盛上げる、そう云ふ態勢を作つて行く、總督府としましては最も能力を發揮し得る様に民間業者の犠牲的協力を得なければならぬ、こうした態勢を取つて戴くことを軍として最も希望して居る所であります。

○辛島教授　　何よりも先づ日本の世界的位置に對する正確なる知的把握が必要ではないでせうか、も一つは内部的に日本の國體に對する正確なる認識、――これに依つて我々の行くべき道を決定する事が、我々臣民たるものゝ道であると信じます。こゝに大政翼賛の意義もあるのです。即ち文學も臣民文學であらねばなりません。何でも從來の氣持ちではいけません、同時に我々の生活には倫理の要求が必要なのじやないでせうか、過去の生活を改正する、同時に新生活の建設に力を盡さなければなりません。新生活の爲には滅私奉公が必要なんです、さつき金澤さんのお話に第一線の推進的指導分子が物足りんとのお話でしたが、新生活運動は凡ゆる部門に始まつてゐる。唯問題は水が凍る時、一寸鹽を入れて置くと餘計早く氷になる様に人民を組織化することゝ、青年をもつと指導して慾しい、凡ゆる層と接觸することも必要である、斯くして各派の考へを一體化させて同じ目的に向ふ様にする。比較的に無關心緩漫であつたものも國家目的に還る様にする、要するに指導者の獲得の爲には先づ組織を新しくしなければならないでせう――。

○香山光郎　　朝鮮は總督府が中心となつて總力聯盟を運營されるのでありますが、之には中核體の組織と云ふことが結局生命じやないかと思ひます、之が整備されたら中核體に生命が這入るわけであつて、中核體は結局人間の問題でありまして、假令ば半島十三道の中に如何に思想が腐敗して、文化の低ひところに於きましても、思想界の急激な變動によりまして新らしき思想が注入され、一月前の思想と今日の思想とは非常な距りがあり毎日急激な變動を見つゝあるのであります、そこで實際的には多少豫算を出しても鹽原閣下が中心となつて、之が頼み得る人物を、皇國臣民の中核體となり得る人物を募集する、集めたものをしつかりと訓練してしつかりした中核體を作る、一年位ひしたら一千人位ひは頼み得る人物を集め得ると確信します、之を以て非公式な中核體を作る、又之を野に放つて新しい同志を作る、こうしたものを集めた組織を訓練して中核體にする、もう一つは模範的な理想的な指導員を作つて模範的な常會を作る、之を數萬こしらへれば之が非常な宣傳を發揮する、出來れば模範邑、面、里と云つた様なものを作ると効果が舉るのではないかと思ひます、これが爲には總督府の強力な御指導を仰がねばなりません。

○鹽原學務局長　　非常に參考になりました。内地に於ける翼賛會を私個人として見まして、第一に各方面の代表者、第二に有力者、第三が本當の推進分子[、]此の三つのものに分れてゐる様に見られる様です。

○金東煥　　若い推進分子程迫力があつて心強く感ぜられます、今後ももつともつとそうゆう方面の分子を第一線へ立たせて戴き度いです。

○野崎眞三　　半島二千三百萬の民衆を總訓練すると云ふことは仲々困難な問題でありますが、極く通俗的に解り易く云ふ爲に、お前は一人の將校である、兵士であると云ふことを決心させる、そこから滅私奉公、公益優先の思想を訓練して行く、――

○山之内參謀　　各人が戰士の氣持を以て進む、之が最も必要であります、銃を持つてやる様なことは末の末[、]それよりも上から決められた目的に對つて水火をも辭せず進んで行く[、]之が軍隊の特色だと思ひます

○朱耀翰　　私の方の從業員の實情から見て兵隊訓練の有無と云ふことは凡ゆる點に非常な開きがある。今のところ鐵砲が持合せないので非常に残念に思つてゐるところです。

○蒲少佐　　鐵砲は無くとも宜しいと思ふ。只其の心構へさへあれば徒手でも十分に　　訓練の目的は達し得られる。

先般和信の青年訓練所發會式が舉げられた際、參謀長閣下もお見えになつて座談會のあつた席上でも申上げましたが、訓練所に於て教はつた訓練を實際の日常生活に具體化させることが最も大切なことで、水と油の如く教へらるゝことゝ、日常生活の上に具體化させると云ふ事を別個にしては何の効果もありません。

○徐椿　　此の間京畿道一圓に於て中等學校の演習がありましたが、之は非常に効果があつた、生徒が原ツパに寝て、今だ曾て味つたことのない様な苦しい訓練を受け體驗を甞めて來た、實戰の第一線に出て居らるゝ將兵の勞苦はもつともつと烈しいものだらうと痛感した、こうした體驗を父母に話す、聞かされたその父母は亦そこで第一線の苦勞と云ふものを認識して來る、之は一石二鳥の効果を齎して居ります、こうした演習に參加して尊い體驗を得た代表的な生徒を集めて座談會を開き[、]之を新聞等に宣傅することは非常に効果があるのではないかと思ひます[。]次に先程香山先生のお話で模範村邑を作るとのお話でありましたが之は朝鮮には出來て居る[[4]](#footnote-4)と思ひます、模範村を作ることゝ同時にキリストがキリスト教をひろめた様に先覺者や、偉ひ人が宣傅すると云ふことも之と併行して行く必要があるでせう、それから訓練の問題で、――京城の地下鐵道は勤勞奉仕によつて作つて見せると云ふ氣持ちで自由主義資本主義に慣らされた民衆を訓練する、――暴政の様に聞へるが――朝鮮に於ては百濟の時代旣に男子が十五歳に達すれば國家の公的使命に携はつた、城を築きまた戰場に出て居る、國土計劃とも關係してくるだらうと思ひますが、肉體的勞働をやらせると云ふことは國民訓練の上に最も効果があるのではないでせうか。

○金澤　勇　　訓練上のお話で御參考までにお話しますが、聯合青年團に於て青葉町の孝昌園公園で數回、當番の順で護國神社の方にも參りましたが、其の結果は非常によく、汗の生活に神聖なる勞働の體驗を得ることが出來ました、講演會などはさしたる効果も認められない、修養訓練は凡て行的なもの程効果があると、體驗に鑑みて確信するものです、修養團の白色倫理運動で、静座、御製の朗誦を行ふとか致しましたが非常な効果を収めました、訓練は行的なことをやることに依つて収められる効果が非常に多いと云ふことを痛感しまして御參考までに、

○蒲少佐　　國民訓練はお互ひが切磋琢磨してやらねばならぬ、殊に思想の如きは最も心すべきことである――自分と雖も曾ては自由主義、個人主義の思想の中に教育を受けた人間であるが、その後自らを淨[め]訓練をして來たのである、自由主義、個人主義の思想は自らが之を改め、淨めてかからねばならぬ。自分自身が自分自身の足場を摑へてみつちりと、國家第一主義、國防第一主義、生産第一主義の眼目に向つて御奉公の精神で進むことが肝要です。

○金東煥　　内地に於ける新體制の中の顔觸れを見れば相當のリーダーで以て左翼運動に携つた經歴を持つ人を見受ける様ですが、朝鮮に於ても過去に於て民族運動に携つた人々の中に思想を清算して眞に皇國臣民化された優秀な人があれば、之も大ひに役立たせる機會を與へられるのに今日は最も絶好の機會ではないかと思ひます。

○朱耀翰　　生産力擴充と云ふ意味から[、]産業方面に高度國防國家の確立に就て――總督府、軍方面から産業人に對してもつと積極的に働きかける様に教育して行く、教育の出來そうにない者は指導者訓練により新らしい産業人を見付けて行く、――今日一般産業界の人で、どう云ふことを必要であつて、どう云ふ方面に經營の方法を換へて行かねばならないか迷つてゐる向きもあり、これ等に對しては確固とした方向を示されたいと思ひます。

○福田龍鐸　　朝鮮に於ける國語普及の問題と青年訓練の問題に就て、將來どう云ふ風にお考へなつてゐらるゝか蒲少佐殿にお願ひ致します。

○蒲少佐　　新體制に基く国民組織と云ふものは精神的には結局國民の個々の心構へ[、]或はその姿勢が高度なる國防國家確立の下に統合結束されることでありますから、半島の現状より見ます時に從來の營利萬能の自由主義的精神より脱して職能奉公本位に精神を入れ直さなければならぬ、これが爲には訓練が特に必要と私は考へます。又訓練を施すには通譯付きでは困りますので國語普及が急務だと思ひますので私は何としても今やつて居る青年訓練を充實させることや、國民訓練後援會々長野村弘遠氏が私財を以て一生懸命に所謂新體制の公益本位に國語普及を實施されて居るのを強化擴充してやらなければならないと思ひます、此の問題が半島の將來から見ても又國防上から見ても最も緊要事ではないかと思ひます。

1. 『三千里』1940年12月号。座談会は同年10月19日、半島ホテルで開かれた。 [↑](#footnote-ref-1)
2. 假令は「たとへ」と読む。 [↑](#footnote-ref-2)
3. 惟神は「かん（む）ながら」と読む。 [↑](#footnote-ref-3)
4. 「できる」、「可能だ」の意味か。 [↑](#footnote-ref-4)